

佐々木毅著「よみがえる古代思想―「哲学と政治」講義Ⅰ―」講談社学術文庫、講談社 2012年10月10日刊を読む

第1章 ソクラテス以前とソクラテス―人間にとっての政治

I 掟(おきて)、ノモス、傲慢(ごうまん)

ギリシア思想の中の「悪徳」

<倫理の問題>

- ギリシア人にとって一番よくない、悪徳と考えられたものは何か
 - ・これが悪徳だというのを何に求めるか
- 何が悪徳でないのか
 - ・悪徳でないものの根拠は何か



<悪徳>とは

- 「傲慢(ごうまん)」
- 「驕慢(きょうまん)」
- 「ヒュブリス」
- 「非常に驕(おご)り高ぶって掟(おきて)を踏み越える、限界を踏み越える態度」
- よくない倫理的立場
- 「越えてはいけない掟(テミス、ノモス)というものがあって、それを越える行為がよくない、あるいは、越えるようなことをやる人間の内面的な倫理的状態、道徳的状态がよくない」

<掟(おきて)>とは

- 神様のつくった「掟」がある、与えられた場所、分け前というものがある
- 従って、他者の分け前を奪い取ったり、掟を踏み倒したり、越えたりするのはよくない
 - ・「ですから、もし「掟」を越えたら、それは報いを受けて正常な状態にもどることになる。そうならなくてははいけない」



<ヘシオドス作「テオゴニア」(神統記)>ギリシア神話

- ギリシア神話では、神々が権能と分け前をもとにいろいろな関係を結んでいる多神教
- 「テオゴニア」は神々の関係と秩序、掟を描き出した古典

- 「ゼウス(ジュピター)」という神が一番えらい
- そこでは、神々に一種の権能と領域が与えられる

- この「秩序」は、「ゼウス」も守らなければならない
- 掟とそれを支える報復のあり方が示されている
- 統治を担当する「ゼウス」の特徴は、
 - ・「メティス(賢明の神)」や「テミス(掟の神)」を娶っていることからわかるように、賢明であるとともに「掟」というものを守らせる、あるいは守ることにある
- 「賢いこと」と「掟を守ること」はセットで考えられている
- 「掟」を踏み越えると、「悪徳(ヒュブリス)」に陥って、この神聖な「秩序」を踏みこじったことになり、やがて「報復」を受けるだろう
- 「ゼウス」と「テミス」の間に生まれた「ディケー(正義、正義の神)」が驕慢との対決を担う
- 人間は傲慢に身を委ねるのではなく「ディケー(正義、正義の神)」に耳を傾けよ



あらゆるものを貫く神聖な「秩序」

- 非常に神聖な「秩序」というものがある
- そこでは、おののくに与えられた分け前があり、踏み越えてはならない「掟(おきて)」があつて、傲慢に駆られてこれを踏み越えると、神々の関係であれ、あるいは社会秩序であれ、大いに乱れることになる
- 同様に、人間の体もバランスが崩れてしまうと病気になる
- 一つの動かしがたい「掟」「秩序」というものがある、それを守るような形でバランスがとれていれば、体は健康であり、政治も正常な状態であつて、正義や神々の「秩序」が実現される
- 「多神教的な世界を前提にした上で、一つの非常に神聖な秩序がある」
- それをもとにして社会の管理、人間の体の管理など、いろいろな問題をとらえるべきである
- 健康とは、体のバランスがよく保たれているという状態という意味では、体の中で正義が実現されているということである
- このような意味で、正義、健康、いろいろな、いわば「よき状態」というのは、神聖な掟が実現され、諸要素のバランスの上に成り立っている状態
- そういう「よき秩序」をどのように実現するか、それが乱された場合にどのように元に戻すかということが、病気の人を健康な体にし、乱れた政治をよき政治に持っていくことである
- これをもとに、物の考え方の基本的な枠組みがつくられている。それは結果として、たとえば、「平和」につながる
- よき「秩序」「掟」が実現されたときに平和が実現する
- 「体の中の平和」も「社会的な平和」もあるわけ
- このようなイメージをもとにして、いろいろな「徳目」「悪徳」が出てくる
- 「節制」や「中庸」という徳目。そういう「徳目」を守って生きていくことを勧める
- 「コスモス(宇宙)」ということばの出発点であつたギリシアでは、「存在のあり方」「秩序」を



意味していた

○「秩序ある人間」「秩序ある生活」「秩序ある肉体」「秩序ある社会」はこれの「アナロジー」で、
構造的には同じものとして考えることができる

P14 ~ 18

<コメント>

今からおよそ 2500 年前、孔子やその弟子たちが「論語」で示した「君子」の姿と同じ時期にギリ
シアで大切にされていた「神聖な秩序」は、同じものを目指しているようで何かうれしい感じがする

2022 年 10 月 18 日(火)



先師孔子行教像

